



履歴

佐賀縣士族

古賀 坂上 定雄

天保三年壬辰三月生

明治元年戊辰閏四月三日田御領所御用掛  
被申附候事

九州總督府より達書賜

古賀 一平

御領所御用掛申付候事

後四月

同年五月日田御領所御用掛被免候事

九州總督府より達書寫

古 煩 一 平

御領所御用掛申付置候所遠路往復  
取調等彼是周旋大悦之至候今般長  
谷川範藏是越候御用掛之義免候事

五月

同年六月総野鎮梅府附役被申付候事

但佐煩藩ヨリ口達

同年八月八日御座ヨリ知縣事被

仰付候事

且東京馬喰所旦那代所於御用取扱

未夕縣名

御出サレサレ以前

古 煩 一 平

徴士知縣事改而被

仰付候事

己巳正月

行 政 官

坂 上 定 雄

仕品川縣權知事

従一位行右大臣藤原朝臣實長宣

従三位行大辨藤原朝臣俊政奉行

明治二年己巳七月廿日

古賀定雄

叙正六位

右大臣從一位藤原朝臣實美宣

大辨從三位藤原朝臣俊政奉行

明治三年庚午六月九日

品川縣

權知事古賀定雄

任知事

右

宣下候事

辛未五月

太政官

古賀定雄

叙從五位

右大臣從一位藤原朝臣實美宣

大辨從三位藤原朝臣俊政奉行

明治四年辛申五月十七日

品川縣知事古賀定雄

任佐賀藩大參事

右  
宣下候事

辛未五月

太政官

從五位吉賀定雄

任伊萬縣參事

太政大臣從一位三条實美宣

大内從五位上方久元奉

以治四年 辛未十月十四日

古賀縣參事

古賀定雄

兜本官

壬申七月十二日

太政官

古賀定雄

御用滞在被 源付候事

壬申七月十二日

太政官

五位古賀定雄

任宮内少丞

太政大臣一位三條實美宣

大内史五位土方久元奉

明治五年<sup>壬申</sup>七月廿五日

宮内少丞古賀定雄

免本官

明治六年九月十七日

太政官

五位古賀定雄

任巨柄縣参事

右大臣二位岩倉具徳宣

大内史五位土方久元奉

明治六年十一月廿九日

巨柄縣参事古賀定雄

免本官

明治六年十二月九日

太政官

臣五位古賀定雄  
御用滞左政 仰付候事

明治六年十二月十九日

太政官

臣五位古賀定雄

御用滞左被免候事

但此記返上之事

明治七年九月七日

太政官

古賀定雄

任丹東縣權令

太政大臣一位三條實美宣

太内史五位土方久元奉

明治七年十一月廿四日

古賀定雄

叙五位

太政大臣一位三條實美宣

大内史五位土方久元奉

明治八年二月廿日

名東縣權令正六位古賀忠雄

兼任五等判事

太政大臣正一位三條實美宣

右内史正五位土方久元奉

明治八年六月廿日

名東縣權令兼五等判事正六位古賀忠雄

任香川縣權令兼五等判事

太政大臣正五位三條實美宣

右内史正五位土方久元奉

明治八年九月廿日

香川縣權令兼五等判事古賀忠雄

依願免本官至兼官

明治八年十月廿日

太政官



